

※本プレスリリースは、レッドハット株式会社、株式会社シー・エス・イーの2社から配信しております。重複してお手許に届く可能性があります。予めご了承ください。



報道関係各位

2015年10月22日  
レッドハット株式会社  
株式会社シー・エス・イー

## Red Hat Enterprise Linux を 株式会社シー・エス・イー、SECUREMATRIX アプライアンスに採用 安全性、信頼性の高い OS を仮想・IoT 環境で採用、 モバイル・仮想化環境でのパスワード認証安定稼働に寄与

国内有数の情報セキュリティを始めとした ICT トータルサービスを提供する株式会社シー・エス・イー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小島 貴、以下 CSE）は、同社が自社開発したマトリクス認証ワンタイムパスワード、SECUREMATRIX のアプライアンスに、レッドハット株式会社（本社：東京都渋谷区、暫定社長：ダーク・ピーター・ヴァン・ルーウエン、以下：レッドハット）が提供する、Red Hat Enterprise Linux を新たに採用したことを発表しました。

この採用により、企業ユーザーはいかなるモバイル・仮想化環境においても、安定した信頼性の高い OS 上で SECUREMATRIX を稼働させられるようになります。

SECUREMATRIX は、CSE が 2002 年に自社開発、発売開始したマトリクス認証システムによるワンタイムパスワード認証製品であり、ハードウェアトークンなどの特定の認証デバイスを持ち運んだり、また、特定のパスワードを暗記する必要がない画期的な製品です。

同社はサーバー環境において、既に Red Hat Enterprise Linux 6 を採用しておりますが、今回仮想化環境上でのさらなる OS のセキュリティ維持と安定稼働を重視し、Red Hat Embedded Program 経由で Red Hat Enterprise Linux を、新たにオールインワンモデル（SECUREMATRIX All-in-One Model、提供開始時期：2015 年 10 月）、ソフトウェアアプライアンス（仮、年内提供開始予定）に採用することを決定しました。

両社は今後とも、SECUREMATRIX を中心とした、セキュリティ製品の拡販において、あらゆる環境のエンドユーザー、IT マネージャーに安心と信頼をえるソリューションの提供に努めます。

### サポートコメント

レッドハット株式会社 暫定社長、レッドハットアジアパシフィック Pte Ltd シニアバイスプレジデント  
兼 ジェネラルマネージャー アジアパシフィック ダーク・ピーター・ヴァン・ルーウエン

今回、日本国内でワンタイムパスワードのデファクト・スタンダードとなっている、CSE 社の SECUREMATRIX オールインワンモデルに、弊社の Red Hat Enterprise Linux が採用されたことは、弊社の OS をはじめとした製品の安定性、安全性をセキュリティベンダーの観点から高く評価していただいたものと深く感謝しております。IoT の世界

でセキュリティの重要性を考えると、Red Hat Enterprise Linux のエンタープライズレベルのセキュリティと信頼性は、IoT や組み込みアプリケーションの健全な選択肢となっていると考えます。

**株式会社シー・エス・イー インフラ&セキュリティ本部 本部長 兼 CSE International of America**

**代表取締役社長 木鋪 和夫 氏**

今回、オープンソース ソリューションのプロバイダとして世界をリードするレッドハット社との Red Hat Embedded Program の協業は、当社の SECUREMATRIX をより強固にし、またグローバルに展開することを可能にするものです。レッドハット社には SECUREMATRIX を高く評価していただいたことに深く感謝申し上げます。

この協業により、OS と SECUREMATRIX アプリケーションサーバーをインストール作業不要なオールインワンモデル製品としてまとめ上げ、また、サポート面ではワンストップサポートを実施することにより、日本国内においては「ストレスチェック制度」、「マイナンバー制度」の課題に、ただちに対応可能な製品として自信をもってお勧めすることができます。

---

### **Red Hat Embedded Program の概要**

Red Hat Embedded Program は、エンタープライズで利用されている Red Hat Enterprise Linux や Red Hat JBoss Middlewareなどを組み込み向けに提供します。組み込みデバイスやコントローラなどの Intelligent System だけでなく、データセンターにおいても適用可能なプログラムです。

#### **A) 組み込みデバイス**

組み込みデバイスでは CPU の高速化、メモリの低価格化により、この分野においても標準化が進んでおり、従来のように OS をカスタマイズして搭載するのではなく、必要な機能を備えた OS をそのまま搭載するデバイスが増加しています。そのような組み込みデバイスに対し、Red Hat Enterprise Linux、Red Hat JBoss Middleware を提供し、Red Hat Satellite がデバイスを統合管理します。

#### **B) コントローラ**

IoT において、コントローラの重要度は非常に高まっています。コントローラは数千台、数万台にのぼる組み込みデバイスからデータを収集し、データセンターに中継します。Red Hat Enterprise Linux はコントローラの基盤としてシステムならびにデバイスを稼働させ続けます。コントローラは Red Hat JBoss Middleware と Red Hat Satellite を利用してデバイスと交信し、デバイスに最新の環境を提供し続けます。

#### **C) データセンター**

デバイスからコントローラを中継されたデータをビッグデータで活用するためには、膨大なデータを高速に処理し、必要とされるデータ形式へと簡素化することが必要です。ここで利用される Edge Server には高い信頼性、可用性、高速性が求められます。エンタープライズの各社で数多くの実績を積んできた Red Hat Enterprise Linux、Red Hat JBoss Middleware にとっては、得意な領域です。また、仮想化の推進において、Red Hat Enterprise Virtualization (RHEV) が提供されます。さらに、増え続ける膨大なデータに対しては、コスト効果に優れた Red Hat Storage がスケーラブルに対応します。

## その他のリンク

- ・ [レッドハット株式会社](#) について
- ・ [Red Hat newsroom](#) について
- ・ [Red Hat blog](#) を読む
- ・ [レッドハット株式会社の Twitter](#) をフォローする
- ・ [レッドハット株式会社の Facebook](#)
- ・ [Red Hat videos on YouTube](#) を視聴する
- ・ [Red Hat on Google+](#)

## Red Hat について

オープンソース ソリューションのプロバイダとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備えるクラウド、Linux、ミドルウェア、ストレージおよび仮想化テクノロジーを提供、さらに サポート、トレーニング、コンサルティングサービスも提供しています。Red Hat は、企業、パートナーおよびオープンソース・コミュニティのグローバル・ネットワークの中核として、成長のためにリソースを解放し、IT の将来に向けた革新的テクノロジー創出を支援しています。詳細につきましては、<http://www.redhat.com> をご覧ください。

## レッドハット株式会社について

レッドハット株式会社は、米国ノースカロライナ州ラーレーに本社をおく、エンタープライズ Linux の世界的なディストリビューション Red Hat, Inc.の日本法人です。オープンソースを基盤として、組込み系からエンタープライズサーバーまで対応する普遍的なプラットフォームとサービスを提供しています。

## SECUREMATRIX の概要

SECUREMATRIX は、多種多様な業務の認証・認可システムを統合し高いセキュリティレベルと利便性をユーザーに低コストで提供します。このシステムは、認証・認可によるセキュリティとデバイス管理による運用管理を包含します。認証・認可、デバイス管理を統合したシステムにより、専門の IT 技術者を配置することなく、ユーザー自身による運用が可能であり、迅速な配備にも対応できます。

\* CSE がユーザー認証システムに関して取得している特許は国内 8 件、米国 6 件、シンガポール 3 件、中国 2 件です。

(※国内特許番号: 第 3939736 号、第 3996939 号、第 4654329 号、第 4713693 号、第 4713694 号、第 5480122 号、第 5602054 号、第 5602055 号)

米国特許番号: US7409705、US7945948、US7984491、US8209746、US8752147、US8875264

シンガポール特許番号: 183313、189120、189122

中国特許番号: ZL201080065498、ZL201080066108)

## 株式会社シー・エス・イーについて

CSE は、創業以来約 40 年間に渡り独立系のソフトハウスとして、金融ならびにメーカー、官公庁、自治体などあらゆる分野におけるソフトウェア開発の実績を重ねてまいりました。「お客様と共に成長するサービスを提供する」をミッションとして、お客様の事業活動における業務効率化、顧客価値創造、リスクマネジメント等に貢献するサービスを提供します。\*「SECUREMATRIX」、「マトリクス認証」は株式会社シー・エス・イーの登録商標です。

## 本件に関するお問い合わせ

株式会社シー・エス・イー インフラ&セキュリティ本部 広報担当 山田 功一郎、赤松 節子

TEL: 03-5469-6026

E-mail: [pr-smx@cseitd.co.jp](mailto:pr-smx@cseitd.co.jp)

株式会社シー・エス・イー インフラ&セキュリティ本部 広報代理店

担当: 岡部

E-mail: [okabe@bluepond.org](mailto:okabe@bluepond.org)

レッドハット株式会社 広報担当 小坂橋 美世

TEL: 03-5798-8550

E-mail: [pr-jp@redhat.com](mailto:pr-jp@redhat.com)

レッドハット株式会社 広報代理店

担当: 小野寺、伊藤

TEL: 03-3571-5185 FAX: 03-3574-0316

E-mail: [ritsuko.onodera@kyodo-pr.co.jp](mailto:ritsuko.onodera@kyodo-pr.co.jp) [ke-ito@kyodo-pr.co.jp](mailto:ke-ito@kyodo-pr.co.jp)

## 将来予想に関する記述

このプレスリリースに含まれる表現は、1995年米国民事証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)が定める定義の範囲内で「将来の見通しに関する声明」に相当する場合があります。将来の見通しに関する声明は、特定の仮定に基づいて将来の出来事に対する現在の期待を表明したものであり、過去または現在の事実と直接関連しない声明を含んでいます。実際の結果は、重要なさまざまな要因により、将来予測に関する記述に示されたものとは大きく異なる場合があります。その重要な要因としては、当社が実効性のある競争を行えるか、新しい製品や技術革新を適時に提供して、それらに対する需要を喚起できるかに関するリスク、IT投資の遅れや削減、業界統合による影響、買収先の統合および取得した技術や商品を市場にうまく投入できるかに関するリスク、訴訟やそれに関連する和解の不確実性や不利な結末、当社の知的所有権を適切に保護できないこと、また、第三者の知的所有権に関してライセンス侵害・違反の請求がなされる可能性、データと情報のセキュリティ上の脆弱性に関するリスク、当社の成長と国際的活動に対する実効性がない管理と統制、為替レートの変動、主要スタッフの変更とそれらの者への依存、並びに、当社の Form10-Q に基づく最新の四半期報告書(コピーは SEC のウェブサイト <http://www.sec.gov> から入手可能)に掲載されているその他の要因(同ウェブサイトの「リスク要因」および「財務状態と営業成績に関する経営陣の考察と分析」の項に掲載されている要因)などが挙げられます。これらの要因に加えて、実際の将来の業績、結果、および成果は、業界や市場の全般的な状況、成長率、経済および政治の状況、政府・公共の政策の変更、地震や洪水などの自然災害の影響などの、より一般的な要因のために大きく異なる場合があります。本プレスリリースに掲載されている将来予測に関する記述は、その発行日時点の当社の見解を示したものであり、その見解は変更されることがあります。ただし、当社は将来のある時点で将来予測に関する記述を更新することもあります。更新についていかなる義務も負うものではありません。これらの将来の見通しに関する声明は、本プレスリリースの発行日より後のいかなる時点

における当社の見解も表すものではありません。

Red Hat、Red Hat Enterprise Linux、Shadowman ロゴ、JBoss は米国およびその他の国において登録された Red Hat, Inc.の商標です。LINUX®は米国およびその他の国における Linus Torvalds の登録商標です。OpenStack のワードマークは、米国とその他の国における OpenStack Foundation の登録商標/サービスマークまたは商標/サービスマークのいずれかであり、OpenStack Foundation の許諾の下に使用されています。Red Hat は、OpenStack Foundation や OpenStack コミュニティに所属しておらず、公認や出資も受けていません。